



Kringle
Pharma

2020年4月24日

各位

クラリス・バイオセラピューティクス社とライセンスおよび供給契約を締結しました

クリングルファーマ株式会社(本社:大阪府茨木市、代表取締役社長:安達喜一、以下「クリングルファーマ」)は、クラリス・バイオセラピューティクス社(本社:米国ニュージャージー州ジャージーシティ、最高経営責任者:クラーク・アトウェル、以下「クラリス」)と、ライセンスおよび供給契約(以下「本契約」)を締結しましたのでお知らせいたします。

クリングルファーマは、難治性疾患(脊髄損傷急性期、ALS、急性腎障害、声帯癒痕)を対象として組換えヒトHGFタンパク質(開発コード:KP-100)の臨床開発を進めています。クラリスは米国ハーバード大学発のスタートアップバイオベンチャーで、米国において眼科疾患を対象にKP-100を開発することを計画しています。本契約により、クリングルファーマはKP-100に関する技術情報をクラリスにライセンス供与するとともに、クラリスが実施する非臨床および臨床試験に必要なKP-100原薬を供給します。本契約に伴い、クリングルファーマはクラリスより契約一時金および今後のKP-100原薬供給に応じて対価を受領します(金額は非開示とさせていただきます)。さらに本契約により、クリングルファーマはクラリスの開発品目に関する日本におけるライセンス契約の優先交渉権を保有します。クリングルファーマはクラリスとの協業を通じてKP-100の対象疾患を眼科領域に拡大し、医薬品シーズとしてのKP-100の価値を最大化してまいります。

HGF(Hepatocyte Growth Factor, 肝細胞増殖因子)について

HGFは、成熟肝細胞の増殖を促進する生体内タンパク質として日本で発見されました。その後の研究から、HGFは細胞増殖に加えて細胞運動促進、細胞死抑制、形態形成誘導、抗線維化、血管新生など多彩な生理活性を有し、肝臓のみならず、腎臓、心臓、肺、神経系、皮膚など様々な組織・臓器の再生と保護を担うことが明らかになりました。難治性疾患のモデル動物において、HGF投与による治療効果が多くの論文で報告されており、難治性疾患治療薬のシーズとしてHGFへの期待が高まっています。

クリングルファーマ株式会社について <http://www.kringle-pharma.com/>

大阪大学発創薬ベンチャーとして2001年12月に設立され、HGFによる新規バイオ医薬品の開発・実用化を目指しています。現在、組換えヒトHGFタンパク質について、1)脊髄損傷急性期(第Ⅲ相試験準備中)、2)ALS(第Ⅱ相試験(医師主導治験)実施中)、3)急性腎障害(第Ⅰaおよび第Ⅰb相試験終了)、4)声帯癒痕(第Ⅰ/Ⅱ相試験(医師主導治験)終了)の治療薬として開発を進めています。当社は、HGFタンパク質性医薬品の社会実装を通じて新たな価値を創造し、人々の健康と幸せに貢献してまいります。

問合せ先

安達喜一

クリングルファーマ株式会社

代表取締役社長

☎ 072-641-8739

✉ kpinfo@kringle-pharma.com